

2013/04/09

2013 年度前期

東京大学大学院人文社会系研究科

臨床死生学倫理学研究会

午後 6 時半～8 時半

4 月 24 日(水) 「QOLとは何か:再論—四半世紀の歩みを振り返って」

清水 哲郎(東京大学死生学・応用倫理センター上廣講座特任教授)

5 月 8 日(水) 「死刑制度を考える—ある女性死刑確定事件の取材を通して—」

早瀬 圭一(ノンフィクション作家・毎日新聞社客員編集委員)

5 月 29 日(水) 「科学的生死観」

菅 弘之(岡山大学医学部生理学元教授、国立循環器病センター研究所名誉所長)

6 月 26 日(水) 「人生の最期を考える社会を

—もしものための「事前指示書講座」の開催を通して—」(仮題)

三好 都子(医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック 在宅医療連携室)

7 月 17 日(水) 「慢性腎臓病患者さまの「豊かないのち」の実現のために

—その方らしい透析導入、非導入、差し控えについて—」(仮題)

大賀 由花(赤磐医師会病院 看護師／透析技術認定士)

*どなたでもご自由にご参加ください (事前登録不要)。

会場:東京大学法文 1 号館 215 教室

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_01_01j.html